

自 己 評 価 及 び 外 部 評 価 結 果

作成日 平成 22 年 6 月 8 日
1・2階共通

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2773001066		
法人名	社会福祉法人 太陽社会福祉事業協会		
事業所名	グループホーム サンシャイン		
サービス種類	(介護予防) 認知症対応型共同生活介護		
所在地	大阪市東淀川区大道南一丁目 12 番 2 4 号		
自己評価作成日	平成 22 年 5 月 27 日	評価結果市町村受理日	平成 年 月 日

【事業所基本情報】

① 介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	
② 情報提供票を活用する場合	

① 基本情報リンクURLを記入 ② 別紙情報提供票のとおり

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
所在地	大阪市東住吉区山坂五丁目5番14-103号
訪問調査日	平成 22 年 6 月 2 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

グループホーム設立の本来の目的である「認知症の進行の緩和」に主眼を置き、少人数制の利点を生かして、入居者個々人の残存能力に合った日常生活での役割を少しでも増やすことで、QOLの向上に寄与しようと努めている。従って一方的な介護ではなく、個人のペースに配慮しつつ家事やレク等は、協働で行うスタンスをとっている。その一方で開設から6年を迎え、入居者もそのご家族も高齢化が進んできた為、医療的な支援や頻繁に起こる転倒や失禁といった事態に少ない職員だけでは対応しきれなくなってきた。その対応として法定基準より若干上回る職員数を配置することで全体として穏やかな雰囲気を作り出し、生活を楽しんでいただけるよう配慮している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

ホームは淀川の堤防より少し離れた、閑静な住宅街の中にあり、新築鉄骨2階建てで、開設6年目になる。現在は、介護経験豊富な職員8名による、柔軟な対応により、利用者は毎日を楽しみ暮らしている。特に、症状の記録は管理者の指導の下に、会話だけでなく、看取りと表情の変化等からも読み取るよう配慮されている。又、利用者の中に高齢化が進んで来ているので、介護のあり方にも絶えず工夫し、改善を図っている

事業所名 グループホーム サンシャイン

特定非営利活動法人
評価機関名 近畿マネジメント・サポート・センター

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価		
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○ 理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念を策定し、掲示している	職員会議は、毎月の金曜日に定例で開催し、管理者は職員に、企業理念の実践を指導している		
2	2	○ 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として、日常的に交流している	運営推進会議や行事を通して交流している	地元の方々の支援で出来た施設なので、各種の団体との交流は、長く続いている		
3		○ 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や、支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域高齢者への能動的な行動は起こしていない			
4	3	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で頂いた意見はサービスに活かせるよう努めている	運営推進会議にご出席の委員さんからの情報も多く頂き、介護改善に役立っている		
5	4	○ 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議以外に安心サポート（地域包括支援センター）の職員は毎月来所されている	現在のところ、区役所の担当の方々の来訪も多いので、その際に、情報を頂いてる		
6	5	○ 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて、身体拘束しないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年間予定を立てて身体拘束の研修を実施している、玄関ドアの施錠は地理的、交通的に不安があるので、ご家族の了解を頂いている		

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○ 虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	折にふれて注意を促し防止に努めている		
8		○ 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度や安心サポートの利用はあるが、学習の機会はない		
9		○ 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分 理解・納得を得ている		
10	6	○ 運営に関する利用者、家族等の意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員、並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者及びご家族の意見は傾聴しているが外部者は、運営推進会議の方々より頂いている	利用者、ご家族からご意見や、苦情があれば、管理者が直ちに対応している	
11	7	○ 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や、提案を聞く機会を設け、それらを反映させている	職員会議の際、意見を聞くようにしている 他、個人的に事務所で聞くようにしている	職員会議は意見が出やすい雰囲気が進められているが、個人的な会話も管理者は心がけている	
12		○ 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう、職場環境・条件の整備に努めている	21年度は具体的に実行できなかったが、22年度は処遇改善交付金制度を活用し、キャリアパス要件を適用する		
13		○ 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修を中心に進めている		

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○ 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大阪市GHネットワークに参加している		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○ 初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	努めている		
16		○ 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者の思いが第一であるが、現状ではご家族の思いが優先している		
17		○ 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護職員、ケアマネ、嘱託医が連携してニーズの把握に努めている		
18		○ 本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を支援される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できることはご自分でしていただくということを基本スタンスとしている		
19		○ 本人と共に過ごし支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者を支えようとする程の絆がある家族は、いない		

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や、場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ケアプランにて対応している	利用者の馴染みの方々の来訪は殆どない。利用者との会話の中で、情報把握を心がけている	
21		○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席や散歩等の組み合わせに注意を払っている		
22		○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現状ではそういったケースがない		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○ 思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	集団生活の中でバランスを考えながら、個人の意向をできる限り実現できるよう最良の対応を探している	利用者の思いや、希望等の支援に対しては大阪版の認知症シートを活用し、サービス計画作成に役立てている	
24		○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	大阪方式のケアプランで、かなりカバーできていると思われる		
25		○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の、現状の把握に努めている	各種チェックシートや訪問看護、往診等で多角的に把握している		

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○ チームでつくる介護計画とモニタリング	ケース会議に於いてなるべく大勢の職員の意見を反映させる形で作成している	利用者の日々の生活リズム、健康状態を把握し、可能な限り、本人の思い通りの暮らしが続けられるように、スタッフ同士が常に話し合っている	
		本人がより良く暮らすための課題と、ケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している			
27		○ 個別の記録と実戦への反映	ケア記録支援システム（電子媒体）の他、日誌類や引き継ぎノート等状況に応じて使い分け、情報の共有に努めている		
		日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしている			
28		○ 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	歯科やマッサージ等の訪問サービスの他、デイケアといった通所サービスも利用している		
		本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援や、サービスの多機能化に取り組んでいる			
29		○ 地域資源との協働	無料又は低額で利用できる地域資源は大いに活用している		
		一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している			
30	11	○ かかりつけ医の受診診断	嘱託医には月2回往診していただいている主治医を変えたくない方は、ご家族にお願いして受診していただいている	心療内科医師の往診を月2回頂いている。歯科医師からも毎週の診療を受けている	
		受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している			
31		○ 看護職員との協働	週2回の訪問看護の他、適宜電話等で医療面での支援を受けている		
		介護職員は、日常の関わりの中で、とらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している			

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○ 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	提携病院は、できるだけ早く退院させる方針なのでそれに従っている		
33	12	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で出来ることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合、看取りは行わないといった指針を作成し、契約の段階で説明して同意書を載している	高齢者は体力低下に伴い、重度化の速度が早いために、ご家族には入所時に理解して頂けるように努めている	
34		○ 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は、応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルは整備されているが、活用されていない		
35	13	○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を、全職員が身に付けると共に、地域との協力体制を築いている	避難訓練は行っているが、地域への働き掛けは十分でない	管理者、職員は自治会長さんを含めた、ご近所との交流について、特に配慮している	
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○ 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りや、プライバシーを損ねない言葉かけや、対応をしている	対応はとにかく言葉遣いが悪い 要指導	職員と利用者との関係の深い浅いはあるが、中には対応の難しい方もあり、職員一同で話し合いながらケアを進めている	
37		○ 利用者の希望の表出や、自己決定の支援 日常生活の中で本人が、思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	まず利用者に意見を聴き、理解できていないと思われる時は、絵や実物を見せる等している		

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○ 日々のその人らしい暮らし	全体の輪を乱さない範囲で最大限ご希望に沿っている		
		職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している			
39		○ 身だしなみやおしゃれの支援	おしゃれとまではいかないが、季節にあった服装や清潔の保持には配慮している		
		その人らしい身だしなみや、おしゃれが出来るように支援している			
40	15	○ 食事を楽しむことのできる支援	食べることが最大の楽しみという方が多い。できる範囲で調理や片づけに携わってもらっている	業者からの仕入れとなっているが、リクエストにも応じている。おやつは職員と一緒に交代で買い物の楽しみとしている	
		食事が楽しみになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている			
41		○ 栄養摂取や水分確保の支援	水分及び食事摂取量のチェックを行い、少ない方には本人の嗜好に応じた形で提供している		
		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			
42		○ 口腔内の清潔保持	毎食後、口腔衛生の支援をしている。又、週1回訪問歯科を受診している		
		口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や、本人の力に応じた口腔ケアをしている			
43	16	○ 排泄の自立支援	夜間において睡眠を優先するかトイレ誘導を行うか。又、ポータブルを使用するか等、人によって支援を変える等配慮はできている	排泄管理表により、一人ひとりを誘導している。又、血圧のチェックと下剤の工夫を行っている	
		排泄の失敗や、おむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や、排泄の自立に向けた支援を行っている			
44		○ 便秘の予防と対応	排泄・水分摂取量のチェックを行い、散歩を励行している		
		便秘の原因や、及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる			

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	外 部 評 価	
			実 施 状 況	実 施 状 況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○ 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように、職員の都合で、曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日、時間は基本的に決まっているが、個人の状態にできる限り合わせている	原則は週3回としているが、希望があれば、出来る限り応じている	
46		○ 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣や、その時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の行動に制限をしていないが、昼夜逆転の恐れがある時は、防止する支援をしている		
47		○ 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と、症状の変化の確認に努めている	服薬の支援は殆どの職員がするが、薬を理解しているのは一部の職員のみ		
48		○ 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や、力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居時に個人の趣味や好きなことをリサーチしてプランに挙げている		
49	18	○ 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	年1回だが、誕生日外出という名目で個別外出の機会を設けている	散歩は、天候次第だが毎日している。おやつのお買い物も楽しみの一つとしている	
50		○ お金の所持や、使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるように支援している	基本は事務所管理だが、できる方はご自分で管理されている。他の方は買い物時に支払いをしていただくことがある		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に、本人自らが電話をしたり、手紙のやりとりができるように支援している	電話をかける相手や手紙を送る相手のいない方がほとんどだが、できる方には支援している		
52	19	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な混乱を招くような刺激(音、光、色、広さ、温度など)が無いように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地良く過ごせるような工夫をしている	建物の設計が新しいので採光や換気は問題ない。居間の壁や廊下には利用者手作りの季節の装飾をしている	職員と共同で装飾品の飾り付けをしている。共用室、廊下は新築でもあり、簡素で落ち着いた雰囲気となっている	
53		○ 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で、思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用スペースの中に一人になれる場所はないが、ソファで会話をされている		
54	20	○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや、好みのものを活かして、本人が居心地良く過ごせるような工夫をしている	入居時にご本人の使い慣れたものや馴染みのものを持参していただくようお願いしている	各個室は自由に持ち込みとしているが、多くは簡素な雰囲気として利用している	
55		○ 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつ、できるだけ自立した生活が送れるように工夫している	当事業所の方針としてできることはご自分でしていただくことを挙げており、実践している		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる	☐	① ほぼ全ての利用者の
			② 利用者の2/3くらいの
			③ 利用者の1/3くらいの
			④ ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面 がある	☐	① 毎日ある
			② 数日に1回程度ある
			③ たまにある
			④ ほとんどない
58	利用者は一人ひとりのペースで暮らしている	☐	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとし た表情や姿がみられている	☐	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけてい る	☐	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
		☐	③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている	☐	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らせている	☐	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、 求めていることをよく聞いており、信頼関係が できている	☐	① ほぼ全ての家族と
			② 家族の2/3くらいと
			③ 家族の1/3くらいと
			④ ほとんどいない
64	通いの場やグループホームに、馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている	☐	① ほぼ毎日のように
			② 数日に1回程度
		☐	③ たまに
			④ ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業 所の理解者や応援者が増えている	☐	① 大いに増えている
			② 少しずつ増えている
			③ あまり増えていない
			④ 全くない
66	職員は生き活きと働けている	☐	① ほぼ全ての職員が
			② 職員の2/3くらいが
			③ 職員の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスに、おおむね 満足していると思う	☐	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスに、 おおむね満足していると思う	☐	① ほぼ全ての家族が
			② 家族の2/3くらいが
			③ 家族の1/3くらいが
			④ ほとんどいない